

フライフィッシング・スターティングセット

セット内容	 ロッド	 ソフトケース	 ハードケース
	 リール	 バックングライン	 フライライン
	 ティペット	 インジケーター	 完成フライ ベーシックセット
			 クリッパー

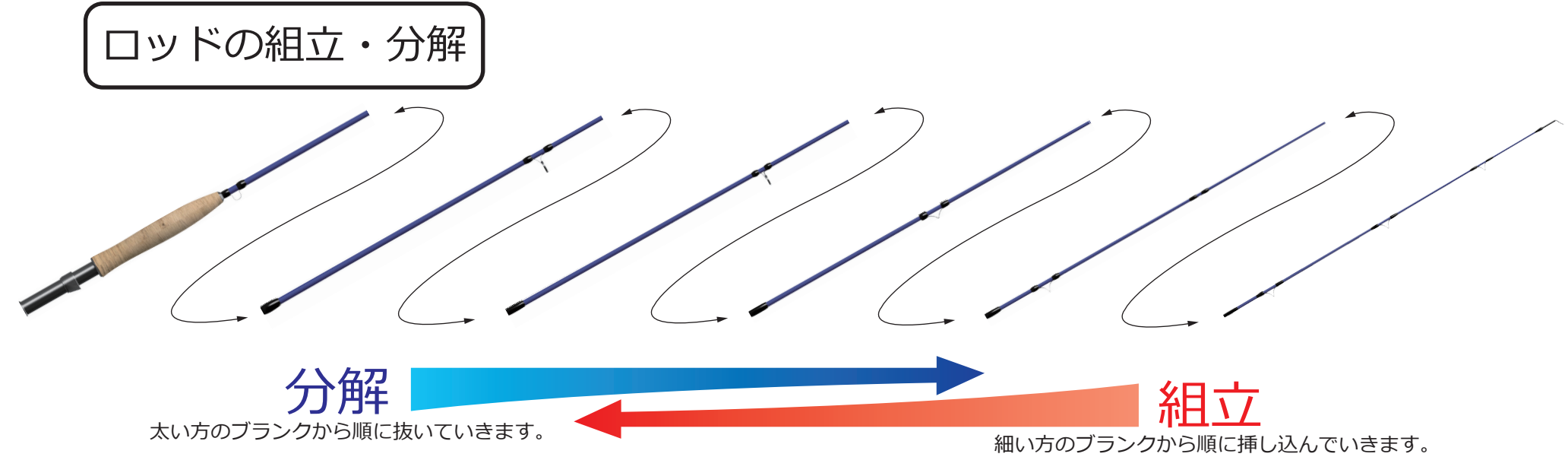
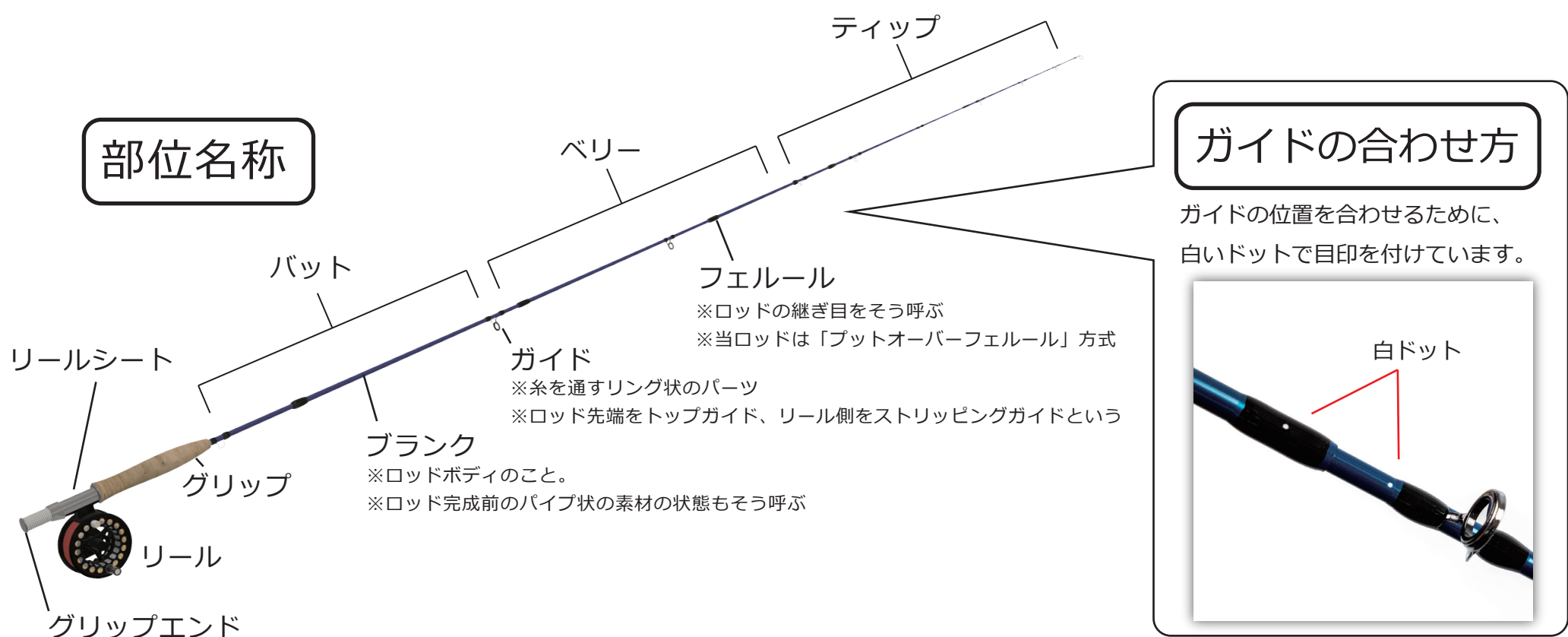
※初回開封時、不足品がないかご確認ください。
 ※製品のデザインや仕様は品質向上のため予告なく変更されることがございます。



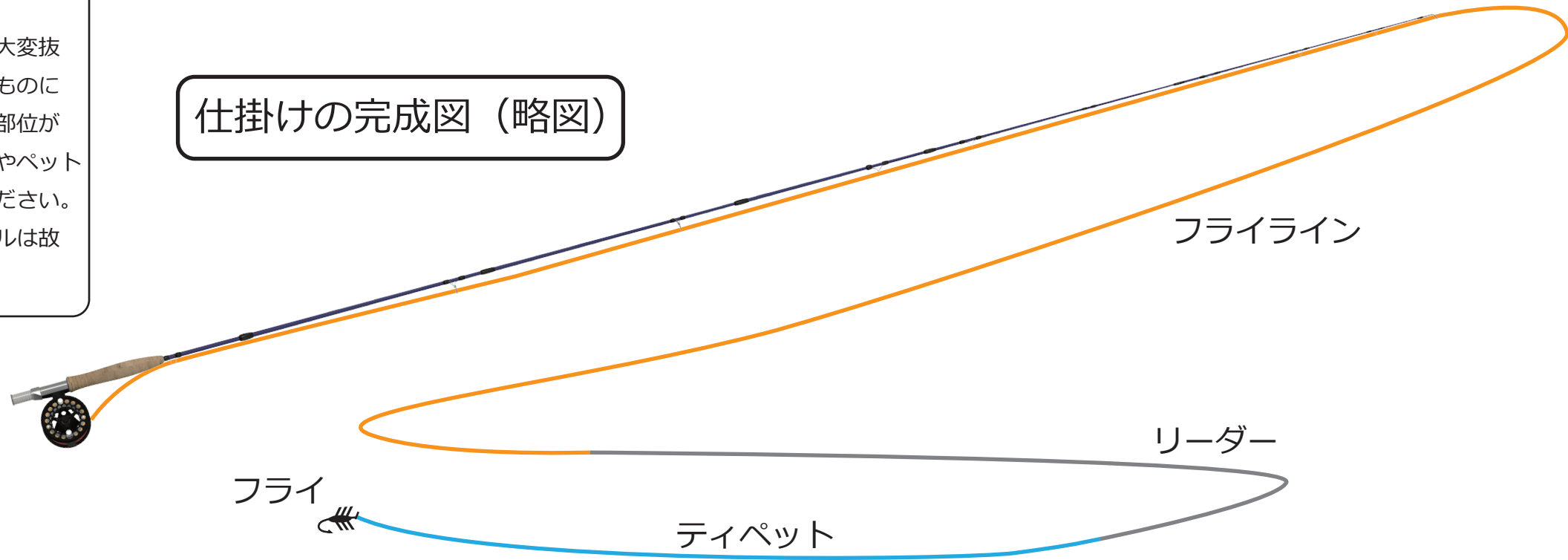
ご注意

釣り以外の用途に使用しないでください。子供の手の届かない所に保管してください。同封の保証書はロッド（釣り竿）のみ対象としています。フライ（疑似餌）には釣針がついていますので周囲や自身、その他財産に注意してお使いください。必ずメガネやグラス類（目の保護となるもの）を装備してご利用ください。

釣針には「かえし」と呼ばれるものがついており、一度刺さると大変抜けにくくなっております。人体、動物、衣類その他、針が刺さるものに一度刺さると非常に抜けにくく、無理に抜こうとすると刺さった部位が大きく損傷することになりますのでご注意ください。釣針が人体やペット等に刺さった場合、無理に抜こうとせず速やかに医師にご相談ください。釣具はその全てが消耗品です。ロッドは折れることがあり、リールは故障することがあり、糸は切れることがあります。

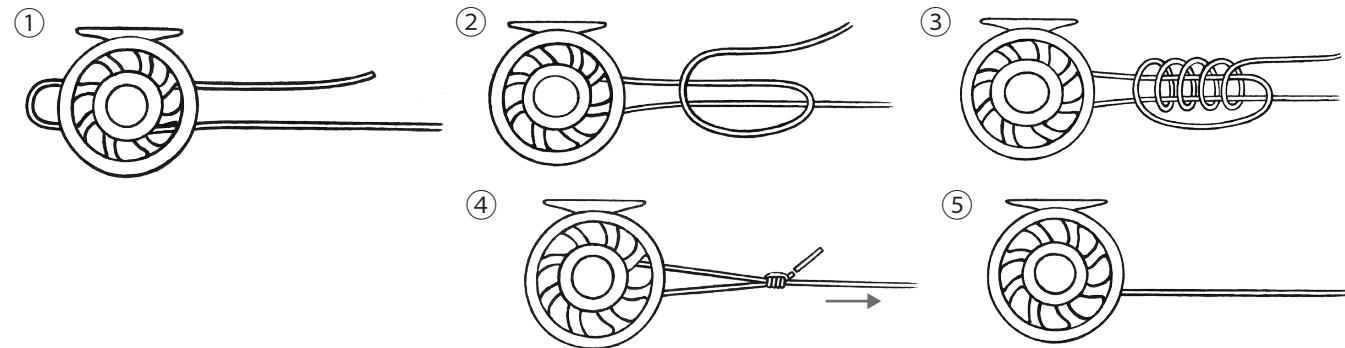


仕掛けの完成図（略図）



お家で済ませておくこと

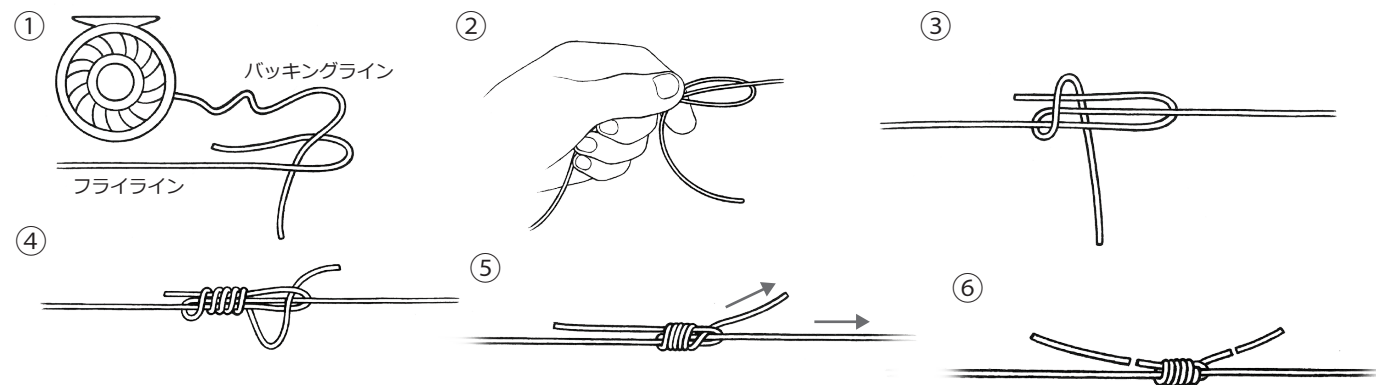
1. リールにバックングラインを巻く



2. フライラインを接続する



バックングラインの先端にフライライン（リール側）を接続します。両端にループがありますがこれはカットしても利用しても構いません。先端側のループはカットが適しています。



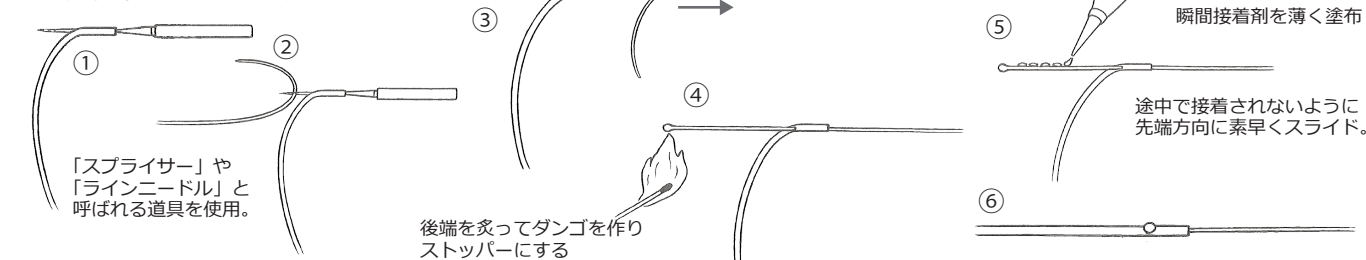
3. リーダーを接続する

リーダーはテーパー状になっており、細いほうが先端側です。スターティングセットに同封のフライライン先端のループはカットし、「ネイルノット」（図 A）または「スプライスネイルノット」で接続してください。対象魚が 45cm 程度迄の場合、当社オリジナルの「スプライス&スーパーグルー」（図 B）という方法があります。接続部分がスムーズで、ロッドのガイド等に引っかかりにくくなる他、リーダーの長さを犠牲にしません。

A ネイルノット

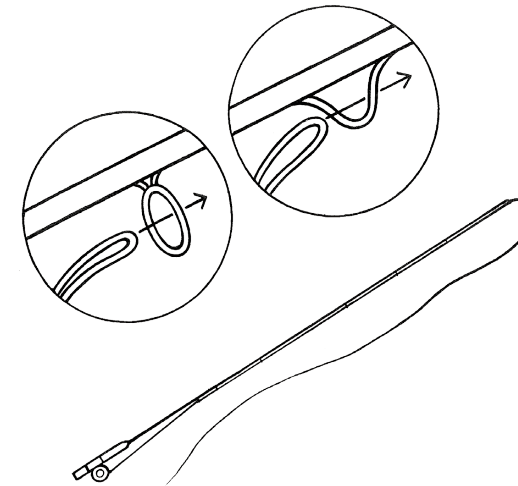


B スプライス&スーパーグルー



現場で行う準備

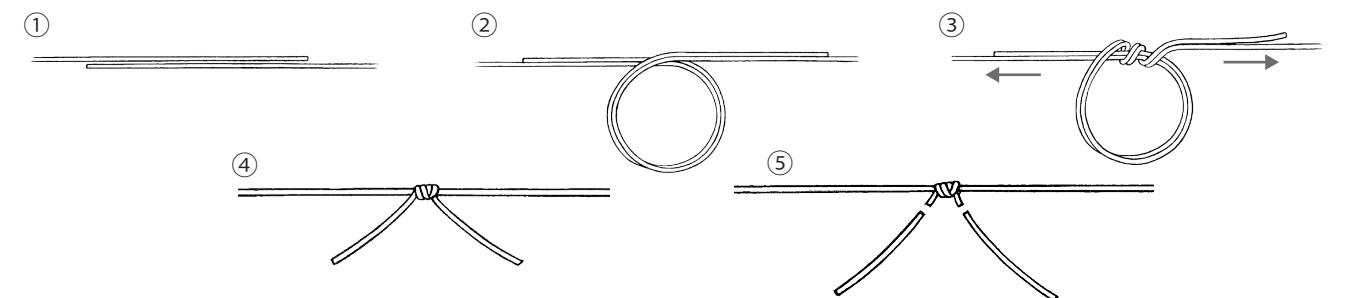
1. 組み立てたロッドにリールを装着し、ラインをガイドに通していく



フライラインを折りたたむようにしながらガイドに通すと、リーダーやティペットが付いたままでも通しやすく、また、途中でうっかりラインを手放してしまっても、途中のガイドで止まりやすくなります。

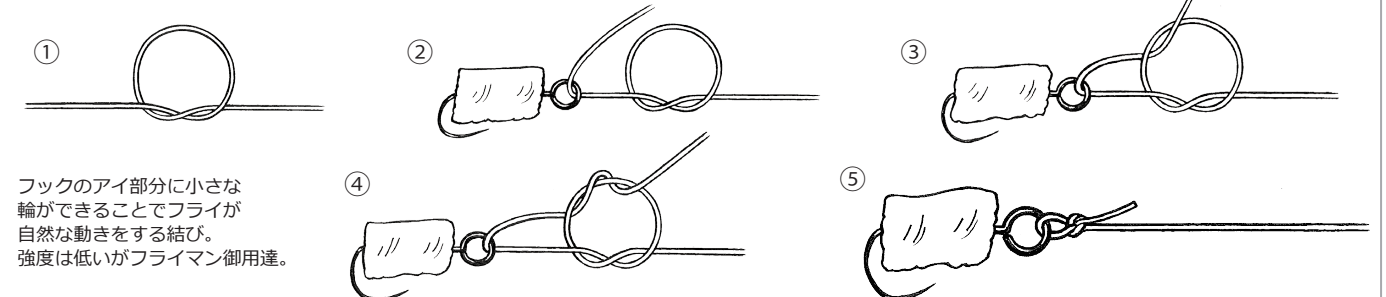
2. リーダー先端にティペットを結ぶ

リーダーとティペットの長さは好みにより様々ですが、初心者はリーダー 7.5ft、ティペット 50 ~ 70cm くらいで始めるとキャスティングしやすいでしょう。最初のうちはラインが絡んだり、フライをどこかに引っ掛けてしまい、ティペットを切る機会が少なくありません。ティペットが短くなったら同じ結びで先端にティペットを継ぎ足してください。



3. ティペット先端にフライを結び、釣り開始！（フリーノット（図 A）またはクリンチノット（図 B））

A フリーノット



B クリンチノット

